

多摩南大沢オープンは2024年7月に累計参加者 3,000 名を達成！

2022年11月以来、約2年ぶりとなる一般(高校生以上)シングルスを開催します。最終順位が決定するまで勝者同士だけではなく敗者同士も対戦する日本で唯一の南大沢方式のトーナメント戦を1人最大4試合予定しています。



卓球DEエール
卓球・社会貢献

2024年9月6日

主催：卓球DEエール

多摩南大沢オープン 一般（高校生以上）シングルス

- 開催日時 2024年9月23日（月・祝） 集合13：10／解散17：00
- 開催場所 南大沢市民センター／フレスコ南大沢公共棟3階・体育室全面（卓球台8台）
（京王相模原線 南大沢駅下車 徒歩約5分／八王子市南大沢2丁目27）
- 開催内容 シングルス／男女混成トーナメント戦
 - 参加者が16名の場合は一つのトーナメント、32名の場合は上位・下位の2つのトーナメントとし、それぞれ最終順位が決まるまで勝者同士・敗者同士が対戦。最大1人4試合。
 - 試合内容・試合数は、参加人数により異なります。
- 試合球 ニッタク3スター プレミアム
- 表彰 上位入賞者には賞品（お菓子）を進呈
- 参加資格 オープン（高校生以上の卓球愛好家ならレベルを問わず男女誰でも参加可能）
 - 準備や後片付けにご協力いただける方
 - 揉め事を起こさない方
- 参加費 社会人1人500円・学生1人300円（当日現金払い）

※申し込み後、7日前（9月16日）からの取り消しは参加費全額を申し受けます。
- 募集定員 32名（申し込み状況により16名又は24名で受付を終了する場合があります）
- 最少催行人数 16名（申込締切日に満たない場合は中止となる場合があります）
- 申し込み締め切り日 2024年9月20日（金）

※先着順のため、定員に達した段階で受付を締め切ります。
※申込締切日を過ぎても、空きがある場合には前日まで申し込みを承ります。
- 申込方法
 - 最新の申し込み状況をご確認ください☞<https://x.gd/wwN7W>
 - 申込状況確認後、受付中であれば①当日着用のゼッケン名（学校名・チーム名・個人）、②参加者氏名（漢字とよみがな）、③性別、④生年月日（西暦と月日）、⑤居住地（市区町村：八王子市等）、⑥学生は学校名と学年を下記いずれかの方法でお知らせください。

※過去参加者は漢字氏名のみでカンタン受付が可能です。
 - 学校・部活・クラブ・学習塾・資格試験・家庭等の用事を確認し、必ず参加日程を確保した上でお申し込みをお願いします。
 - 連絡方法
[過去参加者：①～④、初参加②～④]
 - 運営管理者の個人LINE（非公開：過去参加者のみ）
 - X（旧Twitter）のDM（<https://twitter.com/minamiosawaopen/>）

③ Instagram の DM (<https://www.instagram.com/minamiosawaopen/>)

④ e-mail (minamiosawaopen@ymail.ne.jp)

1 2. 申込手続き完了連絡

- (1) 申込連絡後、原則として 2 4 時間以内に正式予約完了のご連絡を差し上げます。
その後は、大会参加者専用のグループ LINE で大会前・大会当日のご案内を致します。

1 3. タイムスケジュール (3 2 名参加の場合)

9 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0 までは同会場にて p 4 m a t c h シングルスを開催しています

集合	1 3 : 0 0
受付	1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 1 5
試合前練習	なし
試合開始前の説明	1 3 : 2 0 ~ 1 3 : 3 0
トーナメント戦	1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 5 0
結果発表・片付け	1 6 : 5 0 ~ 1 6 : 5 5
解散 (完全撤収)	1 7 : 0 0

1 4. その他

- (1) 体育館には観覧席がないため、一部スペースを観覧用としてパイプ椅子を設置して対応しております。
- (2) 競技中の事故については、自己責任・自己負担でお願いします。
- (3) 選手は必ず申込の学校名・チーム名と同じゼッケンを着用してください。
- (4) 試合中のビデオ撮影は可能ですが SNS 等への掲載はご遠慮ください。
- (5) 選手名や大会結果は、多摩南大沢オープン卓球大会の公式 X (旧 Twitter) 及び Instagram 等に掲載させていただきますので予めご了承ください。
- (6) 多摩南大沢オープンでは、卓球×社会貢献=卓球 DE エールという活動を行っています。
参加者×100円の積立金は過去4年間で総額35万円を超え、令和6年能登半島地震、在日ウクライナ大使館、緑の回廊プロジェクト、病気の子どもや家族が滞在できる施設 (ふちゅうハウス、もみじの家) などへ寄付・寄贈させていただきました。

以 上